

こどもの詩コンクール応募作品資料

《小学校低学年》

いいかお

隈府小学校

一年 荒木 桃李

ままのハゲ

隈府小学校

一年 森川 麗桜

ちようちよ

平井小学校

一年 伊藤 暖真

ぱぼとおふろにはいった

「きようがっこうはどうだった。」

って ぱぼがきく

「たのしかった。」

って ぼくはこたえる

ぱぼとぼくは

いいかおになる

おふろからあがって

ぼくはつめたいみずをのむ

ぱぼはつめたいびいるをのむ

ぱぼとぼくは

またいいかおになる

(第三十二回入賞作品)

きもちがわかるよ

おかあさん

(第二十九回入賞作品)

ほかほかのりつこおかあさん

大江小学校

一年 大江太郎

となりだとふわふわ

さわるとほかほか

ふとんみたい

ざぶとんみたい

(第二十三回入賞作品)

おかあさんのおい

壺川小学校

一年 柏原 美帆

おかあさんのまくらを

におったよ

せっけんのおいがしたよ

きもちよかったよ

(第二十三回入賞作品)

きくだけでわかるよ

宇土小学校

一年 瀨本 梨未

りあ

りいちゃん

りい

やさしいときは りいちゃん

おこっているときは りい

ふつうは りあ

なまえをきくだけで

ちようちよがすきになったよ

(第三十三回入賞作品)

ぼくは

パパも

ほんとうだね

っていつて

ちようちよが

ひらり

しぜんがいつぱい

はっぱもきれいだね

パパも

ほんとうだね

っていつて

ちようちよが

ひらり

ぼくは

ちようちよがすきになったよ

(第三十三回入賞作品)

お父さんの手

菊水小学校

二年 田中 あかり

ふゆのあま

おとうさんとさんぽに行ったよ

「むむいなあ。」

つづ言つて

手を

「はあはあ。」

つてあたためたら

おとうさんが

手をつないでくれた

おとうさんの手はなんで

こんなにあったかいのかな

(第三十五回入賞作品)

お父さんのおなか

励徳小学校

二年 田村 ゆず

お父さんのおなか

ぽよんぽよん

気持ちいい

お父さんのおなかは

大きい

赤ちゃんがいるのかな

お父さんのおなかは

つくえみたい

ポップコーンをのせてみたい

お父さんのおなかは

わたしのあそびば

トランポリンみたい

お父さんのおなかは

わたしのまくら

ぐっすりねむれる

お父さんのおなかは

わたしのとくとつせき

大きいおなか

これからもずっといっしょだよ

(第三十四回入賞作品)

ふんわりおかあさん

宇土小学校

二年 上谷 啓人

「けいと おきて。」

いつもおかあさんのこえで

目がさめる

ぼくがおきないと

おかあさんもねころがって

ぎゆうとしてくれる

「あと十びよう。」

十びようたつても

ぼくはねたふりをする

おかあさんはふわふわ

この十びようが

ずつとつづけばいいのにな

(第三十三回入賞作品)

お母さんの「はん

芳野小学校

二年 福田 琉人

いえにちかづくとき 何だか

おいしいにおいがした

「あつ。お母さんがいるんだ。」

ぼくは 早あるきになった

「このにおいは・・・おむらいすだー!」

ぼくは ドアをカチャッ

お母さんがモクモクゆげの中
わらつてる

ぼくもうれしくなって

わらつたよ

ぼくをえがおにする

まほうのおむらいす

(第三十回入賞作品)

おとうさんのへんなうた

池上小学校

二年 松本 壮司

おとうさんが

ビールをのんでよっぱらうと

へんなうたを

うたいます

かえうたをしたり

じぶんをつくつたりして

ぼくとおとうと

おねえちゃんと

おかあさんに

きかせてくれます

いえの中は大わらい

みんなで大わらい

おとうさんのうたは

せかい一

(第二十五回入賞作品)